

次号予告

特集 少子・高齢化

4%掛金建て私的年金の導入効果……………	高山 憲之 (一橋大学)
	山口光太郎 (第一生命経済研究所)
地方自治体の人口予測の政策と手法……………	小西砂千夫 (関西学院大学)
高齢化社会と労働市場……………	八代 尚宏 (上智大学)
少子・高齢化は本当に何が問題なのか……………	原田 泰 (大蔵省)
社会保障と税制……………	跡田 直澄 (大阪大学)
	吉田 有里 (大阪大学)

編集後記

●パソコンのワープロで原稿をお書きの皆様、お使いのソフトに満足なさっていますか？ 私の場合はストレスの連続です。L社のWindows版ワープロの場合、出力はまあまあだけど数式入力に面倒。そこでM社の定番Windows版ワープロに浮気してみると、数式の入力方法・出力結果ともにセンスが悪く、込み入った貼り付け編集等を行うとフリーズの多発！ こうしたソフトのバージョンアップはインターネット対応や文字飾りの充実等を図るばかりで、基本性能は向上させない場合が殆どです。結局、WYSWYG機能はあきらめてTeXに精進という次第。

●ワープロソフトの不具合の理由を想像してみます：
(1)ワープロ開発者が数式や図を多用する利用者を指向していない；(2)数式や図の機能に関するエラーチェックが不十分；(3)作成現場でエラーチェックの作法が確

立されていない。こんなソフトでも使わざるを得ないのは、他に良いソフトが無いのと、多くの知り合いが使っているからという理由からでしょう。

●今月号の特集は前記(3)の作法を確立するための基礎研究を紹介したものです。完成度の高いソフトを提供すれば、メーカーの利潤だけでなく利用者の便益にも貢献できます。ソフトウェアのエラーチェックがそのための要件であることは論を俟たないでしょう。しかし、前記(1)や(2)も重要です。事実上の標準となりつつあるワープロソフトが、お遊び機能の充実ばかりを売り物にすることに不満を抱く方も多いのでは？ もしかしら昨今のパソコン版UNIXの普及はこうした不満に端を発しているのかも知れません。ソフトウェアの信頼性に関するOR研究が近い将来にメーカーとユーザー双方に福音をもたらさんことを。

(栗田 治)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 北澤英理子(東京ガス株)、栗田 治(慶応義塾大学)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(財団法人中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、田村明久(京都大学)、中川慶一郎(株NTTデータ)、原 裕淳(株東芝)、平山克己(住友金属システム開発株)、松村良平(東京工業大学)、宮崎知明(富士通株)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成11年8月号 第44巻 第8号 通巻464号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ